



発行
日本共産党
寝屋川市委員会
072-823-0058
FAX : 823-4336
No. 3489

寝屋川市会議員

中林かずえ
宝町4-33
090-3944-8385

寝屋川市会議員

松尾信次
下木田町12-6
090-3056-9924

寝屋川市会議員

西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員

太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

市独自の物価高騰支援を

12月議会で中林議員が行った一般質問の一部を紹介します。

◆ 市内の飲食店から悲鳴です。

「コロナ禍より今が一層つらいです。インフレエンザでお客様激減、持続化給付金で助けられた半面、今年は非課税

税にはならず各種公共料金が高くなり、仕入れや光熱費も上がり、返済に追われています」とのことです。

★(質問) 飲食店を含む、市内事業者へ市として何らかの物価高騰支援策を求めます。

●(答弁) 公定価格で運営される事業者にお

いては価格転嫁ができず、特に経営の圧迫が深刻になることが危惧されることなどを踏まえ、国・府の動向を注視する中で総合的に検討してまいります。

と家計急変世帯への給付を求めます。★国に低すぎる非課税基準の引き上げを求めます。

★(質問) 国の非課税世帯への物価高騰支援金7万円については、非課税以外の低所得者

●(答弁) 国においてその他の低所得者への給付金も検討されていると承知しています。市府民税の非課税の範囲は全国一律の制度として規定されています。

社会福祉協議会の人件費の引き上げを

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく「地域福祉を担う組織」

で、高齢者や障がい者ひとり親への支援をはじめ、ひきこもり支援や就労支援、困っている人への衣食住の提供、家計再建支援、家計管理支援もそうです。また、コロナ禍では緊急貸付も委託されました。

★このように社協の仕事は幅広く、行政が直

接市民に対応していないことの多くを担っており、重要な役割を果たしています。市としての位置づけと、今後さらに、高齢者への対応を中心に役割が重要になることから、事業量に見合う人員の増員

と人件費引き上げの検討を求めます。

で、持続的に運営が行われるよう支援してまいります。

★(質問) 減免申請を含む各種申請書については、ホームページで申請用紙一式と書き方をダウンロードできること。ダウンロードできないものについては、市民にその理由がわかるようにすることを求めます。

●(答弁) 市民サービス改革推進プロジェクトチームの今年度の活

動として、全庁の申請書等のダウンロードを含めた現状整理をはじめ、市民サービス改革の観点から対応等をとります。



わくわく商品券 申込みの改善を

★(質問) わくわく商品券については「インターネットが利用できない」や「店頭に並べない」などがあり、障害者や高齢者が申し込みし易いように改善してほしいとの市民要望についてお聞きします。

の実施主体である商業団体連合会と協議しているところとす。

★(質問) 市営斎場の合葬は、住民票のある市民しか申請ができませんので申請時の住民票の添付の廃止を求めます。

●(答弁) 障害者や高齢者が申し込みし易いよう改善することについては、市民が幅広く購入できる販売方法や、市民負担の少ない販売方法等について、事業

●(答弁) 見直しを進めているところとございます。

●(答弁) 見直しを進めているところとございます。



一般質問する中林かずえ議員

包括支援センターの欠員解消・土曜日開所を

支援や介護を必要とする市民の増加や、国の制度改悪による介護サービス縮小で地域包括支援センターの果たす役割と業務量が増えています。

令和4年度では、12包括支援センターの半数で職員の欠員があり、専門職4人配置に対し、年間とおして3人しか配置できないセンターがありました。

★(質問) ①今年度の欠員状況と対策について。★②ケア労働者は、他の産業界より賃金が低く専門職の確保が容易でないことから委託費の引き上げを求めます。★③現行4人配置の専門職の増員と土曜日開所を求めます。

●(答弁) 欠員が生じている地域包括支援セ

ンターは、現在5カ所です。事業者と連携し、欠員への対応を進めてまいります。

医師がすすめるのに購入できない

生活保護を利用してMさんは、耳鼻科で「補聴器をつけた方が良い。このままだともっと聞こえにくくなる」と診断され、ケーソワーカーに相談すると「手帳がとれるなら補助できる」とのこと

処遇改善加算を独自に実施するなど、必要に応じ見直しを図っており、今後も国や他市の動向を踏まえ、適宜検討してまいります。

●(答弁) 土曜日開所につきましては、市民ニーズの把握に努め、先進市の事例を調査研究するとともに、国府の動向を注視します。

でした。しかし、聴覚障害手帳は、重度でないのとれない、右耳が聞こえなくても左耳が少し聞こえたら、認定されない厳しいもので結局無理でした。

●(答弁) 国に制度化に伴う要望を行うとともに、市民ニーズや認知症予防などの有効性も含め、他市の取組などを調査・研究してまいります。

必要な人が補聴器を購入できるように 中林議員が求める



シングルマザー支援 休日相談とアンケート調査を

シングルマザーからの要望について
★(質問) 「家賃・学費などの支払いで必死にダブルワークで働いているひとり親世帯が沢山います。

賃金が上がらない、物価高騰で食べるものも節約。でも子どもの進学の願いは叶えたい。早めに調べて、手続きも事前にといいながら、仕事を休むと収入も減るので土日祝日の窓口やオンライン対応があればと思います。

また、悩み苦しみなから頑張っているシングルマザーの要望をアンケート等で聞いてほしいです。子どもの数や年齢、親族の援助があるなしでも違います。

●(答弁) 休日の相談窓口については、ひとり親家庭におけるニーズや共働きの子育て世帯の増加等を踏まえ、市民のライフスタイルに合わせたサービスの在り方や提供方法について検討します。

●(答弁) アンケート実施については、毎年8月を集中相談期間とし、現況届の受付とともに家庭状況の聞き取りや各種支援の案内を行っており、引き続き、ひとり親家庭に寄り添った相談支援体制を構築してまいります。

年末の「松屋カフェ」モーニングで、参加者から「高齢化が進んでいる地域に住んでいるので、自治会の班長選びが大変」とのご意見がありました。

班長の順番がまわってきてても、高齢者世帯などでは寄付金や自治会費の集金ができにくいのでどうしたら良いか?何か良い事例がないか?とのことでした。

議員日誌



中林かずえ

帯が増えています。最近の事例では、80歳以上の一人暮らし方や要介護認定者(本人が班長を希望する場合を除き)については、班長を免除するという申し合わせをしている自治会もあるようです。

また、3歳の子どものシングルマザーが順番で班長になる際に「小さい子どもを残して会議や集金にいけない」との事情が自治会長さんに届いて、自治会内で話をしてくれて、順番が変わってもらえらるようになった事例もあります。

